

サイエンスワールド IN 海の青さと



森の緑に囲まれた西海市 Part17

2月24日（土）に、西海市大島町の大島東小学校体育館で、サイエンスワールドが実施されました。この事業は、西海市教育委員会が主催となって、児童生徒が、知的好奇心や探究心を持って学ぶことの楽しさを実感させるとともに、さらなる科学への興味・関心を高める機会とすること、そして科学の目と自立の心（夢や志に向かって、主体性を持って生き抜こうとする心）を育むことを目的として行われています。

西彼杵高校からは、理科担当2名と、3名の生徒が参加し、【不思議な目の錯覚を体験してみよう】というテーマで、錯視のイラストの紹介と、目の「盲点」を体験してみる実験を行いました。

以下は参加した生徒の感想です。



今回行ったサイエンスワールドでは、初めて液体窒素や普段見られない化学物質が見られたし、楽しくて良かったです。子どもたちの相手をするのは、少し大変でしたが、子どもたちも良い思い出をつくることができたと思うので良かったです。（道頭卓也）



今回サイエンスワールドに参加してみて、自分自身にとってよい経験になったなと思いました。子どもたちと接するなかで、科学の面白さを見出せたことに意味があるなと思いました。（代田伊織）



小学生の子どもにきちんと伝えるように話さなといけなかったのが、今回のボランティアに参加してコミュニケーション力が身についたのではないかと思います。この経験を生かしてこれからもがんばっていきます。（山崎琴音）